

今回の内容：会議情報

会議情報

最近の、消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第21回消費者安全調査委員会（平成26年6月20日）

- 幼稚園で発生したプール事故
調査結果の取りまとめを審議しました。

この報告書では、プール活動中の監視体制に空白が生じたために溺水の発見が遅れたこと、一刻を争うような緊急事態への備えが十分ではなく救命処置を十分に行うことができなかつたために死亡事故につながった可能性があることを指摘するとともに、さらにその背景要因も含めて事故の原因を明らかにしました。

その上で、監視と救護に関して必要な再発防止策を検討し、文部科学大臣や厚生労働大臣などに対して、必要な対策をとるよう意見することとしました。

調査結果や意見、意見を踏まえた関係機関の対応については、消費者安全調査委員会のホームページでご覧いただけます。<http://www.caa.go.jp/csic/action/index5.html>

- エスカレーター事故
昨年6月から調査を実施しているエスカレーター事故について、調査の経過報告を審議し、決定しました。経過報告書は、消費者安全調査委員会のホームページでご覧いただけます。<http://www.caa.go.jp/csic/action/index5.html>
経過報告書の内容に沿って、引き続き、原因の究明、再発防止策等の検討を進めます。
- 機械式立体駐車場事故、エレベーター事故
担当の専門委員や事務局から調査報告書等の検討状況について説明を受けました。それぞれ、本日の議論を踏まえ、作業を進めることとなりました。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち5件については調査を行わないことになりました。残りの案件（36件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で調査委員会において判断していくこととなります。

部会の動き

- 工学等事故調査部会（6月上旬に開催）
幼稚園で発生したプール事故について報告書案の取りまとめの議論、エスカレーター事故について調査の経過報告を審議し了承されました。
このほか、エレベーター事故、機械式立体駐車場事故については、それぞれ担当専門委員から報告があり、委員から多くの意見が出されました。これらの意見を踏まえて引き続き作業を進めることとなりました。
- 食品・化学・医学等事故調査部会（6月中旬に開催）
幼稚園で発生したプール事故について、報告書案の取りまとめの議論を行ったほか、子供による医薬品の誤飲の事案について事務局から調査の経過の報告があり、引き続き調査を進めることとなりました。

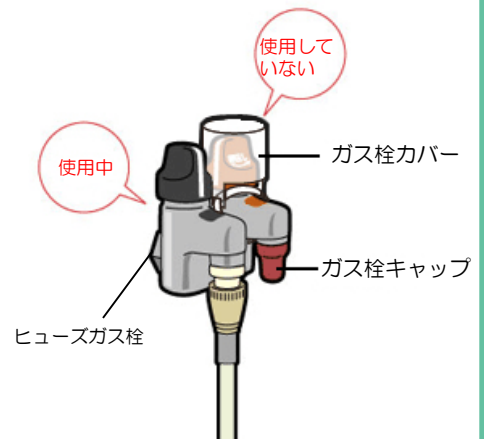
ガスコンロのガス栓の開栓と接続に気をつけて！

二ロガス栓で、ガスコンロに接続されていない方のガス栓を開けたり、ガス用ゴム管とガス栓やガスコンロとの接続が正しくなかったために火災事故が発生しています。

●ガス栓の開栓間違いに注意！

- ・使用していないガス栓のつまみにはガス栓カバーや誤操作防止キャップを取り付けましょう。使用していないガス栓の出口にもガス栓キャップをかぶせましょう。
- ・古いガス栓は、万が一、ガス用ゴム管が外れた場合、ガスを遮断する機構が付いていません。ガスを遮断する機構が付いた安全なガス栓(ヒューズガス栓)に取り換えましょう。

【注意！】使わないガス栓にはガス栓カバー、キャップをしましょう！

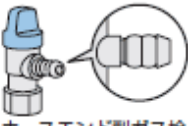

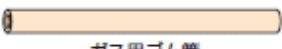
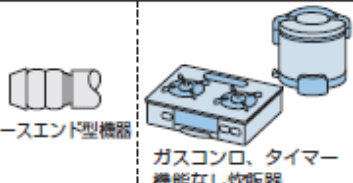
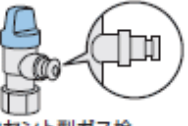



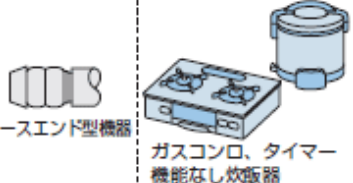




●ガス栓とガスコンロの接続方法に注意！

接続口には「ホースエンド型」、「コンセント型」等の種類があり、ガス栓に接続する接続具は必ずガス栓の規格に合ったものを使わなければなりません。合っていないとガス漏れの原因になります。

例えばコンセント型ガス栓とガス用ゴム管の接続にはゴム管用ソケット(迅速継手)が必要です。

【注意！】ホースエンド型ガス栓とコンセント型ガス栓では接続方法が異なります！

| ガス栓 | 接続具 | ガス機器 |
|---|---|--|
|  ホースエンド型ガス栓 |   ガス用ゴム管 |  ホースエンド型機器 ガスコンロ、タイマー機能なし炊飯器 |
|  コンセント型ガス栓 |   ゴム管用ソケット  ガス用ゴム管 |  ホースエンド型機器 ガスコンロ、タイマー機能なし炊飯器 |
| |   ガス用ゴム管 (注)ゴム管用ソケットを使わずにコンセント型ガス栓につなぐとガス漏れのおそれがあります。 | |

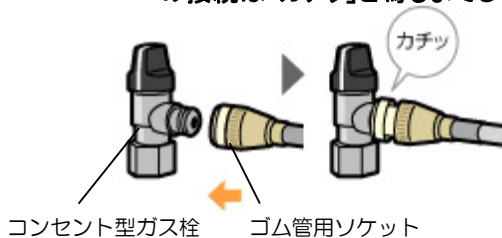
ワンポイントアドバイスのつづき

●ガス栓とガス用ゴム管やガス栓用プラグなどとの接続はしっかりと！

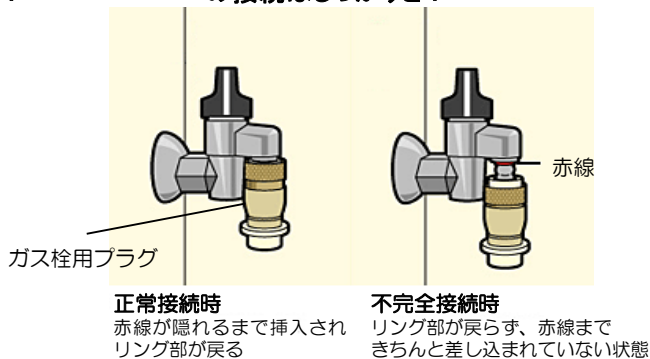
- ・接続部に傷や異物が付いているとガスもれや火災の原因となるため注意が必要です。
- ・特に、ゴム管用ソケットで接続する場合は、ソケットや接続先であるコンセント型ガス栓にゴミなどが付着していないか確認しましょう。また、ソケットは、カチッと音がするまで差し込みましょう。
- ・ガス用ゴム管やガス栓用プラグ※は、ホースエンドガス栓の赤い線まで差し込みましょう。
- ・ガス用ゴム管とホースエンドガス栓とを接続するときには必ずゴム管止めで接続部分に抜け止めをしましょう。
- ・ガスコンロとガス用ゴム管との接続も同様にしっかりと行いましょう。

※ホースエンドガス栓をゴム管用ソケットに接続するためのもの

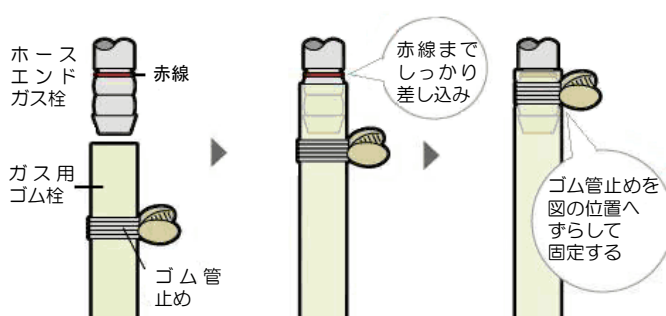
【注意！】コンセント型ガス栓とゴム管用ソケットの接続は「カチッ」と鳴るまでしっかりと！



【注意！】ホースエンド型ガス栓とガス栓用プラグとの接続はしっかりと！



【注意！】ホースエンドガス栓とゴム管の接続は奥までしっかりと！
ゴム管止めも必要です！



●ガス用ゴム管の交換時期や取扱いについて

- ・ガス用ゴム管がひび割れていたり端部がゆるみきっている場合は交換しましょう。
- ・ガス用ゴム管は7年程度を目安に新品と取り替えましょう。また、接続しているガスコンロを取り換える際にはゴム管も同時に交換しましょう。
- ・ガス用ゴム管がガスコンロの下を通ったり、ガスコンロの高温部に触れたり、突起部に引っかかる場合は、適切な長さのものに取り替えましょう。
- ・お手入れ時に洗剤は使用しないでください。汚れのひどい時は、布などで表面を拭きましょう。

協力：一般社団法人 日本ガス石油機器工業会

(注) この参考情報は申出事案に関連した一般的な情報であり、申出内容に対する調査結果や回答ではありません。